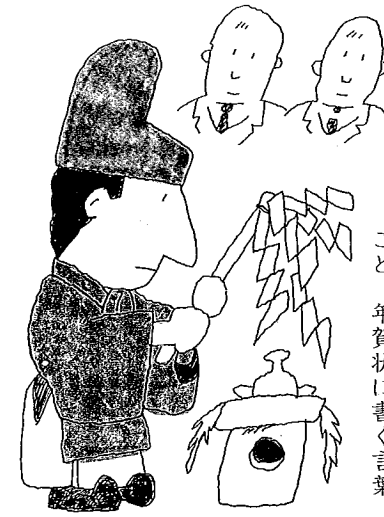
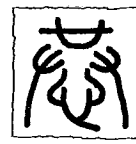


恭

キョウ
うやうやしい

10画 一 廿 共 恭 恭 恭 恭

なりたち 供えるの本字の共と、心の意味の心(したころ)との会意形声字。神に物を供える時の「うやうやしい」慎みの心を表した字。「うやうやしい・慎み深い」こと。



いみじゆくこと
▼恭しい。慎み深い。
恭順：慎んで従うこと。【用例】恭順の態度を示す。
恭敬：慎み敬うこと。心から敬うこと。【用例】恭敬する先輩。
恭謙：慎み深く、へりくだること。【用例】恭謙な態度。
恭儉：人に対しては恭しくし、自分自身は慎(ひか)ましくすること。
恭賀新年：恭しく新年を祝うこと。年賀状に書く言葉。

恭異

異

イ
こと

11画 冫 冫 田 田 畀 異

なりたち 旧字体は異。お面(田)を両手(廿)でつける人(冫)を表した字で、「異様」なことを表した指事字。お面をつけてると全く変わるの、「異なる・珍しい」ことを表した。また、「正しくない」こと。



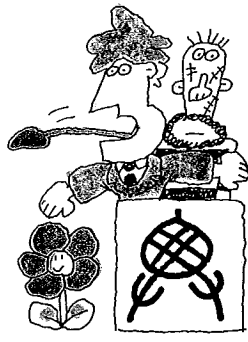
いみじゆくこと
▼異なる。違う。
異常：平常と違うこと。正常でないこと。【例】異常事態
異状：変わった状態。【用例】異状なし。
異口同音：皆が口を揃(そろ)えて同じことを言うこと。
大同小異：細かいところは違っても全体としてはほとんど違いが無いこと。
▼珍しい。不思議な。
怪異：不思議で珍しいこと。
特异：特徴的で珍しいこと。
【用例】特異な症例。
異才：珍しく、すぐれた才能。
▼正しくない。
異心：謀反の心。【用例】異心を抱く。
異端：正統でないこと。正しい道に外れていること。【例】異端者
異同：異論・奇異

弁

ベン

5画 ㇇ ㇇ ㇇ ㇇ 弁

なりたち 旧字体は辨と辯と辨の三字。辨(辛は受刑者。二人の受刑者が対決する意味)と刀との会意形声字の辨は、刀で切るように見事に「裁き分かつ」こと。辯はその「理を判明させる」こと。辨は「瓜(り)の中身」↓果肉の房↓花弁。弁は、両手で冠をつける形。「冠」。



いみじゆくこと
▼わかまえる。裁き正す。分かつ。
弁別：わかまえること。見分けること。識別。判別。
▼巧みに言葉で道理を説く。弁明：巧みな言葉で言い訳すること。弁解。
弁護：他人のために言い訳してかばい護(まも)ること。
▼花びら。花弁の形をした物。花弁：花びら。
安全弁：①「弁」は気(液)体の出入りを調節する花弁状の物。危険防止のために設けた排気口の弁。②危険を前もって防ぐ働きをするものや人。

▼冠。
武弁：武士のつける冠の意味で「武士」のこと。
よみかた 弁償・弁論・雄弁

弁奉

奉

ホウ・ブ
たてまつる

8画 三 尹 夫 奉 奉

なりたち 古い字は奉。両手で捧(さ)げ持つ形を表した升と、手と丰(豊)と神前の供え物を盛る高坏(たかぐわい)との会意形声字。神前に供える高坏を捧げ持ち「たてまつる」ことを表した字。



いみじゆくこと
▼奉る。(下の者が上の者に対して)物を差し上げること。また、「して差し上げる」こと。「うやうやしく」する。
奉祝：お祝いして差し上げる。うやうやしくお祝いする。
奉仕：①仕え奉る意味。国家・社会や目上に私心を捨てて仕えること。【例】奉仕活動
②商人が客のために特に安く売ること。
奉公：①公に奉仕する意味。国家に身を捧(さ)げて一心に尽くすこと。②昔、他人の家に住み込み、その家族に奉仕したこと。
奉納：納め奉るの意味。神社などに寄附すること。
信奉：一心に信ずること。

よみかた 奉行・奉加帳・奉職